



【お知らせ】YouTube動画投稿 防災ナンバーシリーズスタート

■2022年4月から「防災ナンバーシリーズ」がスタート

「防災ナンバーシリーズ」と題しまして、ちょっとした会話の中で自慢したくなるような雑学とともに、防災的な観点から見た数字「防災ナンバー」について紹介しています。防災的な観点から見た数字に着目し、「広い分野で他にどのようなところで用いられている数字なのか」「実際にどの程度の大きさなのか」等、雑談を交えて多くの方に伝わりやすい内容を発信していこうと考えております。

動画投稿概要※

※動画投稿の内容や順番は変更する場合がございますので、ご了承ください。

投稿頻度：2022年4月から月に1回のペースで投稿

第1回	配信済		「600」	避難ハッチ、隔て板の寸法 (mm)
第2回	配信済		「900」	避難ハッチからの避難経路幅、スパンドレル寸法、屋外避難階段幅 (mm)
第3回	6月配信予定		「1200」	廊下幅、屋内階段幅 (mm)
第4回	7月配信予定		「333」	現場へ駆けつける消防車の速さ (m/min)
第5回	8月配信予定		「1500」	屋外避難階段からの避難経路幅 (mm)
第6回	9月配信予定		「31」	はしご車の架梯高さ (m)

よく使われる数字には根拠があるように、
防災ナンバーにも根拠があるんです。



【避難計算解説 vol.10】廊下避難時間について

避難計算解説シリーズの第10回目となります。今回からは廊下避難についてご紹介していきます。

改めまして避難計算とは「居室避難時間」、「廊下避難時間」、「階避難時間」の3項目で構成されており、全てを計算する必要があります。今回紹介する廊下避難時間は居室避難完了後の計算となり、新・建築防災計画指針では「廊下などの第一次安全区画においてその部分を避難者が利用している時間帯の長さ」と定義されています。もう少し分かりやすく表現すると「階段や付室に通ずる廊下に避難者が入り始めてから全員が避難し終わるまでの時間」と言え、避難施設とされている階段や付室までの道中の安全性について評価する項目となっています。そのため廊下避難時間は下図のように廊下ごとでの計算が必要となりますのでご注意ください。

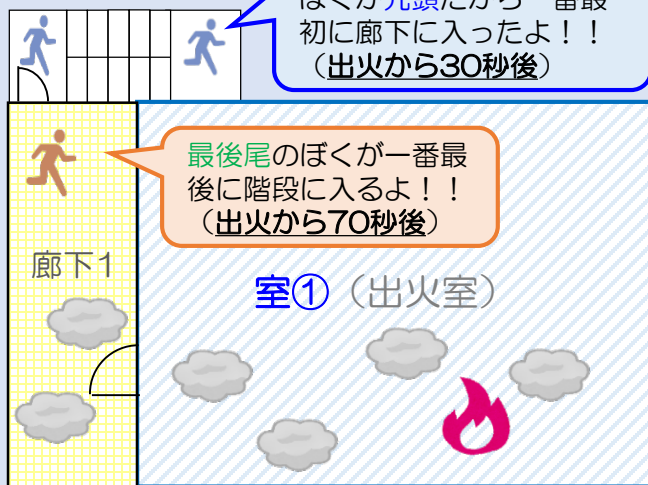
避難計算 3つの項目

居室避難時間

廊下避難時間

階避難時間

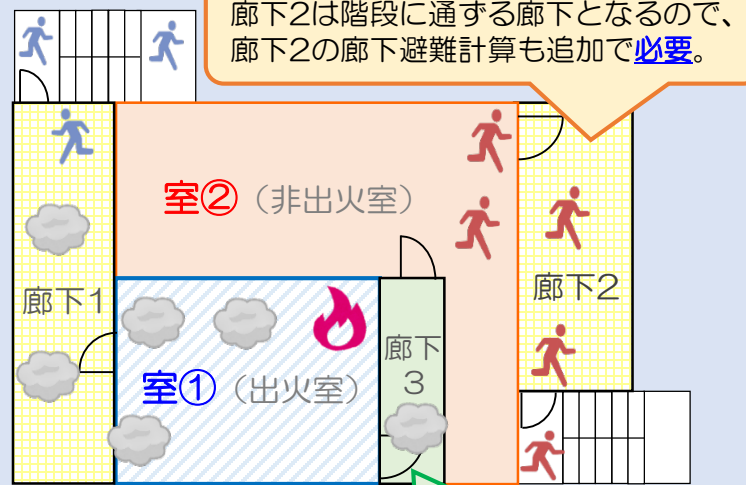
【廊下が1ヶ所の場合】



(計算例)

- 先頭避難者の廊下への進入開始: 出火から30秒後
 - 最後尾避難者の階段への進入完了 (廊下から避難完了): 出火から70秒後
- ⇒廊下1の廊下避難時間 = 70秒 - 30秒 = 40秒

【廊下が複数ある場合】



廊下3は階段と通ずる廊下ではない (階段に至る避難経路ではない) ので廊下避難計算は不要。

【お知らせ】請求書の電子発行に伴う 申込書様式の変更

2022年1月より請求書の電子発行サービスを開始させていただいております。是非ご利用ください。

【請求書電子発行を希望される場合】

申請書（申込書）の記載時に、申請書内の請求書発行方法記載欄の「紙による請求書発行を希望」にチェックせずに申請書をご提出してください。請求書送付先のE-Mail欄に記載したメールアドレス宛に請求書を送付いたします。

建築防災計画評定申込書

一般財団法人日本建築防災協会様へ 理事長様へ 様
 一般財団法人日本建築防災協会様へ（以下評定申請費の納入）に基づき、下記のとおり建築防災計画評定を行ないます。本申込書に記された交付評定に記された事項は、事実と相違ありません。

申 込 者	社 名		
	会 社 名 等		
	代表者役職名		
	代表者氏名		
	所 在 地		
建 築 担 当 者	☐ 申請法人 ☒ 申請法人、下記連絡担当者以外に、建築主と同一の事務所を有するところと同意します。 ※ 建築主が申請法人の親会社、連結子会社、申請法人の申請法人に属する一切の事業者を有するところと同意します。		
	会 社 名 等		
	部署・職位		
	氏 名		
	住 所 〒		

請 求 送 付 先	☐ 上記連絡担当者 ☐ 下記送付先		受付け
	会 社 名		
	部 署 名		
	氏 名		受付料
	〒		〒
	〒		郵便番号
	〒		

請求書発行方法 ☒ 図に上る請求書発行を希望 ☐ 図に上る請求書発行を希望せず

申請者（代表者）の印 申請者（代表者）の署名

・対象業務：性能評定課の受託業務
(性能評価業務・独自評価業務)全般
並びに試験研究センターが実施する
性能評価業務及び同関連業務

請求書発行方法	☐ 紙による請求書発行を希望
掲載誌「GRC」への掲載	☐ 掲載を承諾します

請求書を電子発行
を希望する場合は
「チェック不要」

※ 発行に関する詳細は、以下のサイトをご覧ください。

https://www.gbrc.or.jp/assets/documents/center/building_confirm_manual202112.pdf

※紙での請求書発行をご要望される場合は、申請書の所定の欄にチェックをいれてください。

発行者:一般財団法人 日本建築総合試験所建築確認評定センター
性能評定課 避難・防災G

TEL: 080-8303-3873(中野)、080-8303-3872(長野)
080-8303-3874(前山)

E-mail: seinou4@gbrc.or.jp

【ご紹介】委員会スケジュールについて

今後の委員会日程は下記のとおりです。
HPにも掲載しています。

HP(委員会日程)

		6月	7月	8月	9月
防災計画 評定委員会	小規模共同 住宅委員会	6	7	4	1
	本委員会	22	26	19	22

	6月	7月	8月	9月
避難・耐火性能評価 委員会	24	29	26	30

(※2022/5/30現在)

【編集後記】

桜が散り、春の季節が終わり、梅雨の時期を迎えようとしています。皆様はGWをどのようにお過ごしでしたでしょうか。私は大雨の中、三重県は伊勢神宮へ参拝へ行きました。伊勢神宮は遷宮といわれる神座を移し改修する行事が伝承されることで、いつまでも変わらない姿で神宮の建築技術や、調度を現在に伝えることができます。反対に歴史的価値がありながらも、世界遺産に登録されないのは、世界遺産登録後には、保護活動が行われるものの、遷宮ができなくなるためと言われています。雨の日に参拝へ行くことは、雨で清められた状態で参拝できるという良い説があります。「ひさかたの光のどけき春の日にしづ心なく花の散るらむ」と桜が散り悲しい一方で、それが思い出に刻まれるように、大雨の中伊勢神宮へ参拝できたことは貴重な体験となりました。雨の日にごそ行くべき場所は他にもあるのでしょうか。

記・前山

